

特殊歯科・口腔外科臨床研修プログラム

目標

一般目標 GIO

患者の立場に立ち、患者中心の全人的な歯科医療を実践できるようになるために、医療人としての基本能力と全ての歯科医が習得すべき基本的な診療能力（態度、知識および技能）を身につける。

行動目標 SBO

1. 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立するための能力を身につける。
2. 医療チームの一員としての役割を理解し、他のメンバーと協調する態度を習得することを目的に、指導医、同僚歯科医、他の医療従事者と適切なコミュニケーションをとり、必要な情報交換を行う。
3. 患者ならびに医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方法を習得する。
4. 患者・家族との信頼関係を構築し、診断・治療に必要な情報が得られるような医療面接の能力を習得し、適切に記載する。
5. 歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために必要な基本技術を身につける。
6. 歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身につける。
7. チーム医療の実施と自己の臨床能力の向上を図るために症例呈示の能力を身につける。
8. 基本的な診療能力
 - 1) 病態を正確に把握する能力を身につける。
 - 2) 医療面接と診察から得られた情報を基に、必要な検査を指示し、結果を解釈する能力を身につける。
 - 3) 効果的で効率のよい歯科診療を行うために、総合治療計画の立案に必要な能力を身につける。
 - 4) 一般的な歯科疾患において応急処置を要する症例に必要な臨床能力を身につける。
 - 5) 歯科診療を安全に行うために必要な救急処置に関する知識、態度および技能を習得する。
 - 6) 一般的な歯科治療に対処するために、高頻度に遭遇する症例に対し必要な臨床能力を身につける。
 - 7) 生涯研修のために必要な専門的知識や高度先進的な技術を理解する。
 - 8) チーム医療、法規との関連で医療記録を適切に作成し、管理する能力を身につける。
 - 9) 自分の行った治療の経過を観察評価するために、診断および治療へのフィードバックに必要な知識、態度および技能を習得する。
 - 10) 適切に歯科医療を行うために必要となる歯科医師の社会的役割を理解し、また地域医療についての知識、態度及び技術を習得する。

研修方略

1. 指導医の指導のもと外来患者の診療を担当する。
 - 1) 患者の病歴を記載。
 - 2) 必要な検査を実施。
 - 3) 治療計画を立案。
 - 4) 特に高頻度治療を実践
2. 指導医の指導のもと入院患者の診療を担当する。
 - 1) 入院予約、入院手続き。
 - 2) 患者・家族とのコミュニケーション。
 - 3) 患者への説明。
 - 4) チーム医療の実践。
 - 5) 必要な検査の実施
 - 6) 処方箋の作成
 - 7) 退院サマリーの作成
3. カンファレンスで担当患者の治療計画、経過などを発表する。
4. 関連各科との症例検討会に参加し、症例を呈示し、意見交換をする。
5. 抄読会、学術集会に参加する
6. 安全管理・感染予防の講習会に参加する。
7. 院外研修施設による研修（1か月間）

週間予定

	月	火	水	木	金	週末
午前	診療カンファレンス (7:45) 外来診療 病棟診療 手術見学	診療カンファレンス (7:45) 外来診療 病棟診療	病棟カンファレンス (7:45) 教授回診 病棟診療 口腔嚥下チーム	診療カンファレンス (7:45) 外来診療 病棟診療 手術見学	診療カンファレンス (7:45) 外来診療 病棟診療	必要に応じ 日直医見学
午後	外来診療 病棟診療 手術見学	外来診療 病棟診療	外来診療 病棟診療	外来診療 病棟診療 手術見学	外来診療 病棟診療	必要に応じ 日直医見学
夕方	外来カンファレンス 医局会・抄 読会 (17:00)	外来カンファレンス レポート提出	外来カンファレンス レポート出題 合同カンフ ァレンス (18:30)	外来カンファレンス	外来カンファレンス	

評価

研修中の評価（形成的評価）

研修責任者、指導医、上級医、看護師が定期的に行い、面接を実施する。

研修後の評価

（形成的評価）

研修終了後に **DEBUT** に研修医が入力した自己評価を元に指導医が評価を入力する。提出されたレポートは指導医が確認し、内容によっては不備な点を指導し再提出を求める。

【研修責任者】

栗田 浩

【副研修責任者】

山田 慎一

【研修責任者以外の診療科医師】

酒井 洋徳

近藤 英司

盛岡 昌史

【臨床研修指導医】

栗田 浩

山田 慎一

酒井 洋徳